

# 社会科学習指導案

日 時 令和4年11月8日(火) 公開授業Ⅱ

学 級 宮古市立田老第一中学校

3年A組(男子11名 女子7名 計18名)

会 場 3年A組教室

指導者 吉田 孝泰

## 1 単元名 第3章 現代の民主政治と社会 3節 地方自治と私たち

中学校学習指導要領 社会編 公民的分野

C 私たちと政治 (2) 民主政治と政治参加

## 2 単元について

### (1) 教材観 教材の意義、価値

本単元は、中学校学習指導要領の内容C(2)に該当し、教科の目標である「主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者」として必要不可欠な、地方自治や我が国の発展に寄与しようとする自覚や住民としての自治意識の基礎を育成する単元である。

これにあたり、これまでの単元で身に付けた、効率や公正、個人の尊重や法の支配などの考え方を基に、国民の政治参加との関連について考察、構想、表現し、民主政治をよりよく運営していくために必要なことは何か、自治とは何か、といった課題を追究したり解決したりする活動を行う。

### (2) 生徒観 生徒の姿、変容を期待する部分

実生活・実社会と密接に関係していることから、公民的分野における興味・関心が高く、普段からニュースや新聞などを見ている。考察や構想の場面においても、活発に意見を出し合う姿がみられる。

さらに、本校の総合的な学習の時間で取り組んでいる「田老を語り伝える会」の取り組みを通じて地元田老にも興味・関心を持ち、地元のために何ができるかを考えることができる。

しかし、基本的な学習については、既習事項を活用し表現することを苦手としている生徒が多く、また、基礎的・基本的な知識の習得を苦手とする生徒も多い。

そこで、単元を貫く課題を軸に、節の課題や本時の課題を設定し文章でまとめる活動や、ワークや「すららドリル」を活用し各時間の基礎・基本の知識・技能をふりかえる活動を取り入れたい。また、多様で身近な社会事例を取り上げることで、地方自治が身近にあることや、中学生であっても地方自治に十分に参加することができることに気付かせ、自分事として考え主体的に社会に関わろうとする態度をさらに養いたい。

### (3) 指導観 手立て、単元としての社会とのつながり → 本校研究との関連

#### ①教科の本質・社会との関わり

生徒からすると政治と聞くと一見難しく、取っ付きにくい言葉であるが、法や世論に基づき、国や地方の政治が行われているからこそ、我々は安全で安心な生活ができる。先の戦争では、民主政治ではなく、軍部によるファシズムに走った結果、幾万の尊い命と甚大な被害を出す結果となった。

現在、新型コロナウイルスの流行やロシアによるウクライナ侵略、少子高齢化、環境問題といった

大きな課題だけでなく、田老においては減災・防災や地域社会の存続といった身近な課題など、たくさん課題を抱えるなかで、生徒一人ひとりがこれからも「幸せに生きる」ことができるよう、積極的に政治に参加する必要がある。この単元を学習することで、現実社会に対する関心がより高まり、将来国政に参加する公民としての意欲と態度を育成することができると思う。

②手立て

章の導入では、公約をもとにだれを市長に選ぶかを考える活動を通して、政治の意義について考えさせることができるようにする。1節では、民主主義と選挙、政党政治、メディアリテラシーなどについて取り上げ、なぜ、民主政治において政治参加が重要かについて考えさせる活動を通して、主権者意識について考えさせることができるようにする。2節では、国会、内閣、裁判所を取り上げ、なぜ、国家政治では権力の分散が必要かについて考える活動を通じて、国の統治機関について学ばせることができるようにする。3節では、地方自治の意義や二代表制、地方財政、住民参加を取り上げ、国民の声を政治に生かすために、中学生でもできることを考える活動を通して、地方自治について学ばせることができるようにする。章のまとめでは、1～3節で既習した主権者意識、統治機関、地方自治の学びをもとに、田老の地域住民の思いの実現、地区の課題の改善を行うための条例案をつくる活動を通じて、主体的に地域社会に関わろうとし、より良い田老の未来を創造しようとすることができるようにする。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 知識及び技能

- ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。
- ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解する。
- ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。
- ・地方自治の基本的な考え方について理解する。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

- ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想、表現する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

- ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとする。

評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
----	-------	----------	---------------

規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</li> <li>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</li> <li>・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</li> <li>・地方自治の基本的な考え方について理解する。その際、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>
--------	--	--	---

#### 4 単元の指導計画

○：指導に生かすとともに記録にして総括に用いる評価 ●：主に指導に生かす評価

時間	ねらい■，節の課題◎，本時課題○，学習活動等◇	知	思	態	評価規準（評価方法）	
1	単元を貫く課題（探究課題） <b>■</b> 単元を貫く課題『平和な社会を築くために、私たちはどのようにして政治に関わるべきだろうか？』について、章の学習に見通しを持つ。 導入活動 だれを市長にえらぶ？ <b>■</b> 架空の選挙に参加させることで、政治活動への興味・関心を高めさせる。 ○『だれに1票入れる？』 ◇市長選を模擬体験する活動を通じて、単元を貫く問いを設定するとともに、課題解決の見通しを持つ。				○	民主主義に基づく政治についての考察に、章の学習の見通しを持って取り組みようとしている。（ノート）
2	1節 現代の民主政治 ① 政治と民主主義 ◎『なぜ、民主政治では政治に参加することが重要なのか』 <b>■</b> 民主主義の考え方。 <b>■</b> 民主主義で物事を決める際に必要なことや求められていること。 ○『多数決の落とし穴とはなんだろう』 ◇少数意見を尊重するためには、どのようにすべきか考察する。	●			○	民主主義における物事の決定の仕組みについて理解している。（ワーク）
3	②選挙の意義と仕組み <b>■</b> 選挙の意義。 <b>■</b> 民主主義において、選挙が果たす役割。 ○『なぜ、選挙をするのだろうか』 ◇小選挙区制と比例代表制の特徴から、さまざまな選	●				現在の日本で行われている選挙の基本原則について、理解している。（ワーク）

	挙制度があることの意味を考察する。			
4	<p>③政党の役割</p> <p>■政党の役割。</p> <p>■国民と政党の関係。</p> <p>○『なぜ、議員は政党に所属するの?』</p> <p>◇与党と野党の役割を考える。国民と政党の関係について、民主主義に着目して考察する。</p>	●		<p>日本で行われている政党政治の特徴を理解している。(ワーク)</p>
5	<p>④マスメディアと世論</p> <p>■マスメディアの役割と政治に与える影響。</p> <p>■メディアリテラシーについて。</p> <p>○『きみはメディアに騙されていない?』</p> <p>◇I社とA社の社説を比較して違いに気付くことで、情報を受け取る際に気を付けることを考える。</p>		●	<p>私たちがマスメディアと接する際に注意すべきことを考察し、表現している。(ノート)</p>
課題設定を中心とした「問い」の工夫				
6	<p>⑤選挙の課題と私たちの政治参加</p> <p>■政治参加の方法。</p> <p>■投票率の向上について考える。</p> <p>○『若者はどうしたら選挙に行きたくなる?』</p> <p>◇投票率を上げるための方法を、政治参加に着目して考察する。</p> <p>1節のまとめ</p> <p>◇1節の探究のステップに取り組む。</p> <p>◇1節の課題『なぜ、民主政治では政治に参加することが重要なのか』について考察し、表現する。</p>		○	<p>選挙の投票率を上げるにはどうしたらよいか、政治参加に着目して考察し、表現している。(ノート)</p> <p>○ 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて1節の学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(タブレット)</p>
7	<p>2節 国の政治の仕組み</p> <hr/> <p>◎『国の政治では、なぜ権力の分立が必要なのか。』</p> <hr/> <p>①国会の地位と仕組み</p> <p>■国会の地位と仕組み</p> <p>■国会が「国権の最高機関」とされる理由</p> <p>○『国会って、学校でいうと何だろう?』</p> <p>◇2節の課題の確認。</p> <p>◇なぜ、衆議院と参議院があるのか考察する。</p>		●	○ 国会が「国権の最高機関」とされる理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現している。(ワーク)
8	<p>②法律や予算ができるまで</p> <p>■国会の仕事</p>	●		国会の主な仕事について、本文や資料の読み取

	<p>■「衆議院の優越」が定められている理由</p> <p>○『なぜ、衆議院は優先されるの?』</p> <p>◇法律や予算の成立までの流れを調べる。</p> <p>◇「衆議院優越」の理由について考察する。</p>				<p>りを通して理解している。</p> <p>(ワーク)</p>
9	<p>③行政を監視する国会</p> <p>■国会と行政との関係</p> <p>■私たちと国会の関係</p> <p>○『国会と内閣はどういう関係?』</p> <p>◇国会と行政の関係について、本文や資料から読み取る。</p>	●			<p>国会が行政権との関係の中で担っている役割について本文の読み取りを通して理解している。</p> <p>(ワーク)</p>
1 0	<p>④行政の仕組みと内閣</p> <p>■内閣の役割と仕組み</p> <p>■我が国の内閣と国会の関係</p> <p>○『学校でいうと、内閣ってなんだろう?』</p> <p>◇内閣の役割と仕組みについて、本文や資料から読み取る。</p>	●			<p>内閣の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。</p> <p>(ワーク)</p>
1 1	<p>⑤行政の役割と行政改革</p> <p>■行政における内閣の役割</p> <p>■行政改革が進められた理由</p> <p>○『行政の仕事が増えたり、減ったりするとどんなことがおこるのだろう?』</p> <p>◇大きな政府と小さな政府の長所・短所を考察する。</p>		●		<p>行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現している。</p>
1 2	<p>⑥裁判所の仕組みと働き</p> <p>■裁判の役割</p> <p>■司法権の独立の原則が必要な理由</p> <p>○『なぜ、司法権は独立していたほうがいいのか?』</p> <p>◇司法権の独立の原則が必要な理由について考察する。</p>		●		<p>司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現している。</p> <p>(ノート)</p>
1 3	<p>⑦裁判の種類と人権</p> <p>■裁判の仕組み</p> <p>■裁判によって守られる人権</p> <p>○『死刑制度はあり?なし?』</p> <p>◇日本の死刑制度の賛成、反対について考察する。</p>			●	<p>裁判によって守られる人権について、2章の学習を振り返りながら考察し、表現している。</p> <p>(タブレット)</p>
1 4	<p>⑧裁判員制度と司法制度改革</p> <p>■司法制度改革について</p> <p>■裁判員制度や取り調べの可視化の導入の理由</p> <p>○『裁判をより身近にする取り組みとは?』</p> <p>◇裁判員に選ばれたら、参加したいかどうかについて意見交流する。</p>	●			<p>裁判員が、裁判官とともに担当する役割を、本文や資料の読み取りを通して理解している。</p> <p>(ワーク)</p>

思考を深めるための協働場面の設定

1 5	<p>⑨三権の抑制と均衡</p> <p>■日本の三権相互の関係</p> <p>■三権分立が採られている理由</p> <p>○『国会，内閣，裁判所の関係についてまとめてみよう。』</p> <p>◇国民と三権の関係について考察する。</p> <p>2 節のまとめ</p> <p>◇2 節の探究のステップに取り組む。</p> <p>◇2 節の課題『国の政治では，なぜ権力の分立が必要なのか。』について考察し，表現する。</p>		● ○	<p>三権分立が採られている理由について，人権の観点から考察している。</p> <p>(ノート)</p> <p>民主主義と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決に向けて2 節の学習を振り返りながら粘り強く取り組み，主体的に社会に関わろうとしている。(タブレット)</p>
1 6	<p>3 節 地方自治と私たち</p> <p>①私たちの生活と地方自治</p> <p>◎『なぜ，地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれているのだろうか?』</p> <p>■地方公共団体の役割</p> <p>■地方自治の考え方</p> <p>○『なぜ，地域には特色ある課があるの?』</p> <p>◇3 節の課題の確認をする。</p> <p>◇各地の自治体の特色ある課を調査し，田老地区にほしい課について考察する。</p>		● ○	<p>地方自治が「民主主義の学校」と呼ばれる理由について，地方自治の原則に着目して考察し，表現している。(ノート)</p>
1 7	<p>②地方自治の仕組み</p> <p>■地方自治の仕組み</p> <p>■地方自治での二元代表制の特徴</p> <p>○『なぜ，地方自治体では首長も住民が選ぶの?』</p> <p>◇全国各地のおもしろい条例を調べ，その条例が定められた背景を考察する。</p>		●	<p>地方自治での二元代表制の特徴について，国の政治との違いに着目して考察し，表現している。</p> <p>(ノート)</p>

18	<p>③地方公共団体の課題</p> <p>■地方公共団体の課題</p> <p>■自分が住む地方公共団体の課題</p> <p>○『田老地区の課題とは?』</p> <p>◇田老地区の特色について調べ、課題を考察する。</p>		●		<p>自分が住む地方公共団体の課題を調べ、考察し、表現してる。</p> <p>(ノート)</p>
思考を深めるための協働場面の設定					
19	<p>④住民参加の拡大と私たち</p> <p>■住民が地方公共団体の政治に参加する方法</p> <p>○『田老地区の課題に対し、中学生である私たちができることはなんだろう?』</p> <p>◇これまでの学習をふまえ、田老地区の課題に対し、中学生ができることについて、考察する。</p> <p>3節のまとめ</p> <p>◇3節の探究のステップに取り組む。</p> <p>◇3節の課題『なぜ、地方自治は「民主主義の学校」と呼ばれているのだろうか?』について考察し、表現する。</p>		○	○	<p>住民参加が重要な理由について、民主主義の観点から考察している。また、地方公共団体の課題の解決のために自分にできることを考察し、構想し、表現している。</p> <p>(ノート)</p> <p>民主主義と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて3節の学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(タブレット)</p>
20	<p>⑤第3章 現代の民主政治と社会 まとめ</p> <p>■章を貫く課題についてのまとめ</p> <p>◎『輝け 田老の未来 出動!地域活性課』</p> <p>◇地域住民が考える、田老地区の課題や期待することについて、解決や改善、達成するための条例案を考える。</p> <p>◎『平和な社会を築くために、私たちはどのようにして政治に関わるべきだろうか?』</p> <p>◇章を貫く課題についてまとめる。</p>			○	<p>民主主義と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けてこれまでの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に地域社会に関わろうとしている。</p> <p>(タブレット)</p>
振り返りと評価					

21	<p>第3章 単元テスト</p> <p>■章を通じて学んだ知識・技能，思考・判断・表現の確認</p> <p>○『単元テストで章をふりかえろう』</p> <p>◇単元テストに取り組み，章の学習をふりかえる。</p>	○	○		単元の指導目標に同じ (テスト)
----	--	---	---	--	---------------------

## 5 本時について

### (1) 本時の目標

民主主義と政治参加について，田老の地域住民の思いの実現，地区の課題の改善を行うための条例案について，これまでの学習や章の学習を振り返りながら粘り強く考え，条例案によってどんなまちが実現可能かを考察，構想し，主体的に地域社会に関わり，より良い田老の未来を創造しようとする態度を養う。 (主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 評価規準

これまで学んだ，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目し，さらに，第3章の学習をもとに，民主主義と政治参加について，田老の地域住民の思いの実現，地区の課題の改善を行うための条例案について，これまでの学習や章の学習を振り返りながら粘り強く考え，条例案によってどんなまちが実現可能かを考察，構想し，主体的に地域社会に関わり，より良い田老の未来を創造しようとしている (主体的に学習に取り組む態度)

### (3) 本時の展開

段階	・学習内容 ○学習活動 ●生徒の反応	時間 (分)	●指導上の留意点 ■社会とのつながりに関する留意点
導入	・章を貫く課題についてまとめる時間であることを確認し，章の課題を再確認する。 ・VTRを見た後，これまでの学習を実生活・実社会に活かすことを目的に，本時は田老地区の地域活性課プロジェクトチームの一員として活動することを説明し，課題の設定を行う。	5	■震災後，実際に田老地区の中学生の声で球場が復活し，地域の活性化につながったVTRを見せ，住民が当事者意識を持つことの重要性を認識させる。
『輝け 田老の未来 出動！地域活性課！』			
展開	用紙① 思考ツール（ステップチャート）を用いる。 4～5人のグループで活動。（4グループ） ○（話合① 実現したい住民の声を一つ選ぶ） ・田老や宮古の現状を示す資料1～4と，住民の声を参	5	●資料1～4（スクリーンに表示，ロイロ資料箱にも入れておく） 1 田老の人口の変化 2 人口構成の変化



	<p>考にし、実現したい住民の声を一つ選び、「住民の声」の欄に記入する。その声を選択したのかの理由を持つ。</p> <p>●①を選択。理由、地元に残って生活をしようと思っ ているため、希望のあるまちにしたいから。</p> <p>○（話合② 解決策を考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を実現するための解決策を考え、「解決策」の欄に記入、タブレットで撮影し、ロイロに提出、発表する。</li> <li>・他のグループの解決策を聞く際は、「解決策を実行するうえで妨げとなる事柄」や「より良い解決策」を提示できるように聞く。</li> <li>・各グループの発表を聞いて（他のグループの「解決策を実行するうえで妨げとなる事柄」や「より良い解決策」）意見交流を行う。</li> </ul> <p>●10代から30代の子育て世帯に、子育て支援。</p> <p>●若者の語り場（タロコン）の開催。</p> <p>●田老で起業する人に支援金を出す。</p> <p>○（話合③ 条例案を考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話合②での他グループからの意見を参考により良い解決策を「決まり」の形に整え、「条例案（条例名と内容）」をつくる。「条例案」の欄に記入、タブレットで撮影し、ロイロに提出、発表する。</li> </ul> <p>●「日本一若者が住みやすいまち田老」条例</p> <p>子育て世代と子育て卒業世代をつなぎ、ベビーシッターを頼める仕組みをつくる。</p> <p>年2回、夏と冬に若者の交流の機会（仮名タロコン）を開催し、出会いや情報交流、起業の場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの条例策を聞く際は、決まりの評価ができるように聞く。</li> </ul> <p>用紙② 決まりの評価、改善案用紙を用いる。</p> <p>○（話合④ 他のグループの決まりの評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決まりの評価、改善案用紙に、<u>住民目線</u>で、①適切な手段か。②誰にとっても同じ内容か。④立場を変えても受け入れられるか。⑤お金や物などが無駄なく使われるか。の4観点で隣のグループの条例案を評価し、発表する。（③は今回は評価にいけない）</li> <li>・評価だけでなく、改善案も出せるようにする。</li> </ul>	<p>3 市民税の変化</p> <p>4 市債の変化</p> <p>10 ●3年間田老について学んできた、総合的な学習の時間での学びを参考に考えてもよいことを示す。（防災、産業、地域活動など）</p> <p>10 ●18, 19時で学習した「地域の条例」等も参考にさせる。「効率」や「公正」、「個人の尊重と法の支配」、「民主主義」の観点を参考に考えさせる。</p> <p>●必要に応じて、教科書巻末「日本国憲法8章地方自治」等、関連する法令等を確認させる。</p> <p>10 ●既習をもとに、①②④⑤の観点を評価をする。</p> <p>●住民が、できる限り合意できるように決まりの制定に向けて、改善できるよう促す。</p> <p>●地域住民の思いの実現を行うための条例案について、これまでの学習や章の学習を振り返りながら粘り強く考え、主体的に学習に迎えるよう支援する。</p>
--	--	---

	<p>●①はい。②いいえ。(若者の定義が曖昧, 年齢を指定しないほうがよい。ダイバーシティの考え) ④はい。⑤はい。</p> <p>【時間があれば】</p> <p>○(話合⑤ 条例案のブラッシュアップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のグループの評価を受けて, 条例案をより良くし, 発表する。</li> <li>●年齢を10代から40代までに変更。</li> <li>●資金は, クラウドファンディングで集める。</li> </ul>		
終 結	<p>○学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究課題『平和な社会を築くために, 私たちはどのようにして政治に関わるべきだろうか』について, 自分の考えをまとめ, 発表する。</li> <li>・「どんな意識を持つことが大事か」、「そのために, どのようなことができるか」についてまとめる。</li> <li>●自分たちが暮らす社会を自分たちで創って行く意識をもつことが大事だと思う。</li> <li>●政治に参加するために, 選挙に参加して, 様々な課題に対して, 自分だけでない色々な視点で考え, 解決策を考えていくべきだと思う。</li> </ul>	10	<p>●章の学習を振り返り, 対立と合意, 効率と公正, 個人の尊重と法の支配, 民主主義などに着目し, まとめるよう意識させる。</p>

#### (4) 板書計画

平和な社会を築くために, 私たちはどのようにして政治に関わるべきだろうか?

田老をもっとより良い町に!  
～条例を考えよう～

田老住民の声

- ① 今の若者が, 将来も田老で希望をもって暮らせるようなまちにしてほしい。(琴畑さん)
- ② 田老の真崎わかめ等の特産品をもっと宣伝し, 消費や生産を拡大させたい。(畠山さん)
- ③ 田老に来るお客さんが喜んでくれる町になってほしい。(善助屋食堂の皆さん)
- ④ 田老に住む人が増えて, 賑やかになってほしい。(丸山さん, 田中さん)
- ⑤ 子供たちが増え, もっと賑やかな町になってほしい(加倉さん)

スクリーン

- ・震災後, 実際に田老地区の中学生の声で球場が復活し, 地域の活性化につながったVTR
- ・田老や宮古の現状を示す資料1～4
- ・各グループのステップチャートの表示
- ・評価の観点①②④⑤
- ・章のまとめ(生徒のまとめを表示する)